

お知らせ

宮崎市長との市政懇談会を7月2日(木)午後7時から住民センターにて行います。参加申し込みは不要です。

岩 沢 通 信

第90号
2018年5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢分館
岩沢地域振興協議会・岩沢福祉会
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

地域資源を守れ!!

地域役員と団体が協力

夏に向けて環境整備を実施

6月14日「市文化財等保護管理事業」の一環として岩沢地域振興協議会による函山城址、秋葉山の草刈りが行われた。同日は岩沢ブナ林を守る会によるブナ林の追肥や草刈りも行われ、会員が汗を流した。例年は7月に行われている作業だが、草の伸びが早く、暑さ対策も含めて今年は1ヶ月前倒しの作業となった。
朝7時30分にブナ林前に集まった一部の作業員を前に大淵敏明振興会副会長は「朝早くから参加いただきありがとうございます。昨年の様子を見ていると草刈り機の作業者が近いように思えたので、今年はもう少し距離を取って安全に作業を進めたい。」と挨拶。
一連の作業後は振興会の参加者が旧岩沢小学校プール跡地の草刈りも行い、岩沢まつりの仮設トイレや発電機置き場として利用するのにそなえた。



人物紹介 (24)



JA魚沼 小千谷南部プラザ店
店長 大淵 弘美

4月よりJA魚沼小千谷南部プラザ店に着任しました。芋坂で生まれ育ち、ようやく地元に戻ることができました。私自身もそうですが、子供たちも保育園や小学校等で岩沢地区の方にお世話になりました。
JAも合併があり、南部支店からプラザ店となり地域の皆さまにはご不便をおかけしていますが、地域の皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年の岩沢まつりの方向は？

本部会議開催
6月9日(火)岩沢住民センターにて、8月に開催される岩沢まつりについて、実行委員会に提案する内容を検討するための会議が開催された。冒頭長谷川正夫実行委員長からは「昨年は今年までと趣向を少し替えて、抽選会などの予算を増やして、削るところは削るなどして開催した。今年も実行委員の負担を少なくして、なおかつ地域の皆さんが楽しめる祭りにしたかったので、ご協力をよろしくお願いします」と挨拶。
この後、開催日時は例年通り8月15日(土)を予定。演芸や抽選会、花火も昨年同様で開催。なお花火の価格は昨年からの変更はないが、無理のない範囲で提供をお願いするなどの案が示された。正式には6月19日に実行委員会が開催され、方針が決まることとなる。
また、お祭り当日朝7時から、会場隣の岩沢小学校プール跡地の草刈りも実行委員会で行うこととなった。



地域の皆様へお願い

昨年12月25日発行の南部地域広報誌でお知らせした「機能別消防団」の受付を開始しました。日中岩沢に勤務する人や在住者を対象として臨時的に消防や災害活動に従事してくれる人を募集します。入団条件等詳しくは住民センターに申込用紙がありますので、ご覧ください。左のQRコードからの申込も可能です。皆さんの入団をお待ちしています。



本物の音楽に触れる機会を

日本フィルメンバ―が演奏

小千谷市と災害協定を結び、様々な交流事業を行っている杉並区に本部を置く日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによるコンサートが5月25日南中学校体育館で行われた。

今回はオーケストラメンバーの中の弦楽四重奏による構成で、オープニングにモーツァルト作曲のアイネ・クライネ・ナハトムジークやヴィヴァルディの四季など耳馴染みの曲を披露。最後はテレビのドキュメンタリー番組でもおなじみの葉加瀬太郎作曲の情熱大陸で締めくくった。会場には生徒・職員・地域の方を含めて59人が参加し、コンサートの後には南中学校生徒からお礼の言葉とお土産が渡された。

メンバーはこのほかにも本町の「ホントカ。」や和泉小学校でもコンサートを開催。また、26日に市民会館で開催されたコンサートには岩沢桜峰学級からも多くの会員が参加した。



岩沢アチコタネーゼ定期総会

今年度の方針決定

令和8年度の岩沢アチコタネーゼ定期総会が6月13日住民センターで開催された。開会では駒井和彦代表が「今シーズンの雪おろし作業は、雪が



降り続いた時期もあり大変だったが、スタッフの皆さんのおかげで何とか乗り切った。会に対してそれなりの収入ももったので感謝します」と挨拶。その後、令和7年度の活動報告と会計報告が行われ、令和8年度の活動計画案と予算案も提示され承認された。令和8年度は田植え体験や岩沢まつりへの出店、駅前収穫祭や除雪支援、ふるさと納税返礼品などの事業は継続していくこととなった。

会議の後に開催された懇親会では参加者が和気あいあいと酒を酌み交わし、雪おろしの苦労などを振返った。



どなたかお手伝いお願いします!!

デイホームいわさわ

5月29日(金)デイホームいわさわの年一回の運営協議会総会が住民センターで開催された。



会議では令和7年度の事業実績や活動報告、決算報告が行われ、令和8年度も大きな変更なく事業を行うこととなった。また参加者の増加を図るため7月の納涼祭や11月のお楽しみ会に普段デイホームに参加していない男性も声を掛けて参加してもらったこととした。

お世話係からは「自分たちもだんだんと歳をとり、いつまで続けられるか分からないので、新しいお世話係に入ってもらいたい」などの要望が出された。これに対し運営委員からは、なってくれそうな人に声を掛けたいとの回答があった。

編集後記

おかげさまで「岩沢通信」今号で節目の90号を迎えることとなりました。創刊号は平成30年(2018年)5月25日でしたので、丸8年続いたことになりました。最初の記事を見直してみると、岩沢地域振興協議会の定期総会で出席した役員の写真やアチコタネーゼが小千谷市と防災協定を結ぶ東京都杉並区の中学生103人を受入れて、岩山で田植えを行った様子を記事にしました。このころは、紙面作成のためのパソコンソフトの使い

方がよくわからず、ずいぶんキメの荒い写真で掲載したものと反省しています。

さて、このまま順調に行けば記念の100号は来年4月発行になります。何か記念になる事でもしよかなと考えるこの頃です。……(一)

